
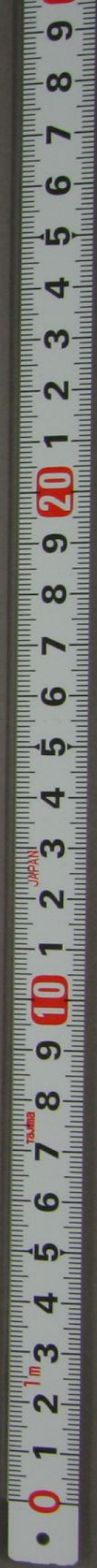


414
A 263
365



予は昔海屋
 出能也
 幸高
 予申す所は只中々
 予は昔海屋



Blank lined area on the right page.

別紙に通電報列するに注意せよ

五ノ一ノ一ノ一 井田がね

岩倉大工屋

西郷中将ヨリ電報セシムル趣

五月廿九日午前十一時四分達

山縣系軍ヨリ左ノ報アリ五月中旬ヨリ薩摩賊
日向ニ入込ニ宮家ノ本營ヲ置キ桐野萬事ヲ
指揮ス全ミリ廿五日義々津ヨリ延岡ニ繰出シタル
賊兵大凡千人餘ナリ又此程本營ニ奔テ日向
一曰畧子十八歳ヨリ四十歳迄ニ若ク募リ兵ニ充ツ
目ノ威カヲ以テ之ヲ脅シ志人モ兵役ヲ免カルヘ
ト得セヌメス又賊ニ病没ニ高岡ニ置キ餘肥佐土原

高鍋也岡ニ支院ヲ置リ又桐野ハ廿五日宮宮ヲ
奪ミ漸次也岡ニ来ル由且別府ニ他ト保テ日向
壯兵ヲ大挙ミテ豊後路ニ出スル決機ナリ又賊兵ハ
金穀ヲ募ル頻リナリ細島ニ在ル貢米^三千石案ヲ
奪ヲリ又桐野ヲシテ壯兵募集ノ効ヲ終^二工^一
メハ^二ル^一ニ萬人ノ兵數ニ至ルヘシ右ハ^二好^一六^一等
判事美々津ニテ見物^三ノ件々^三ヲ^三猶^三確^三実^三
ナ^三ル^三者^三ト^三存^三ス